

参考資料

(1) 「久屋大通再生有識者懇談会」について

名古屋都心のシンボリック空間である久屋大通について、都心にふさわしい統一感と個性の両立した空間として再生するため、各分野の有識者や専門家の意見を聴取する「久屋大通再生有識者懇談会」を平成 28 年度から開催している。

○久屋大通再生有識者懇談会 構成員名簿

(敬称略)

	氏名	所属・職名
座長	堀越 哲美	愛知産業大学 学長 【都市計画】
構成員	涌井 史郎	東京都市大学環境学部 教授 【空間デザイン】
	中村 英樹	名古屋大学大学院環境学研究科 教授 【交通】
	牧村 真史	(株)集客創造研究所 所長 【イベントプロデューサー】
	森田 優己	桜花学園大学学芸学部 教授 【観光】
	保井 美樹	法政大学現代福祉学部・人間社会研究科 教授 【まちづくり】

○懇談会開催経過

回	開催年月日	議題
第 1 回	平成 28 年 5 月 30 日	○座長選出 ○久屋大通の再生について
第 2 回	平成 28 年 7 月 29 日	○久屋大通の沿革について ○久屋大通再生社会実験について ○「久屋大通のあり方(素案)」について
第 3 回	平成 28 年 8 月 19 日	○「久屋大通のあり方(案)」について
第 4 回	平成 28 年 11 月 1 日	○久屋大通におけるエリアマネジメント導入の考え方について ○民間事業者公募に向けた論点整理について
第 5 回	平成 29 年 2 月 6 日	○「久屋大通のあり方 提言(案)」について ○民間事業者公募に向けた考え方(素案)について

(2)「栄地区グランドビジョン」における久屋大通の位置づけ

市民や栄地区のまちづくりに関係するさまざまな立場の人と目標を共有し、それぞれの役割と相互の協力により取り組みを始めていくためにとりまとめた「栄地区グランドビジョン」においては、「公共空間の再生」「民間再開発の促進」「界限性の充実」の3つの方針に沿ってまちづくりを進めていく。そのうち、行政が主体的に取り組んでいく「公共空間の再生」において、久屋大通公園の再生については主要な事業の一つと位置づけられている。

○栄地区グランドビジョンより

公園（久屋大通公園）

■ 久屋大通公園の魅力向上に向けて、都心のシンボル空間として、名古屋を訪れた多くの人々や市民が集まり、憩い、ふれあう、栄地区を象徴する公共空間にふさわしい整備を行います

- ・名古屋大都市圏を代表する観光名所化を図るため、魅力的な集客施設の導入をすすめます。特にテレビ塔エリアについては、テレビ塔と密接に連携した公園・道路の整備・運営に取組み、一層のにぎわいを創出するとともに、良好な景観形成を行い、テレビ塔のシンボル性を強化した空間づくりを行います。
- ・公園本来の機能をしっかり確保しながら、広々とした開放的な広場の整備やイベントなどが実施しやすい基盤整備をすすめます。
- ・整備にあたっては、公園内外の高低差緩和や公園と地下空間との昇降設備の充実など、高齢者や子供連れをはじめとするあらゆる人々が利用しやすいユニバーサルデザインによる公園づくりを行います。

■ 久屋大通公園と沿道とがより一体化するような空間形成を図ります

- ・公園と道路と沿道施設を一体的なにぎわい空間とするため、自動車利用に配慮しつつ、公園の拡幅、沿道からのアクセス箇所の増強、視覚的な開放性を高めることなどにより、公園と沿道との連続性を大幅に向上させます。

■ 久屋大通公園が北から南まで一体的に活用できるような空間形成を図ります

- ・栄バスターミナル（噴水南のりば）エリアは、集客・交流性の高い空間として地下空間とあわせて再整備を行います。また、バスターミナルは、栄中心部において機能を確保した上で公園外への移設に取り組みます。
- ・公園を分断する東西方向の道路は、主要幹線を除き、できる限り廃止するなどして、南北の連続性を大幅に向上させ、周遊できる空間づくりを行います。

■ 広域避難場所としての防災機能強化を図ります

- ・栄地区最大の公共空間として、避難者収容のためのオープンスペースを大きく確保し、沿道や地下などから避難しやすい環境を整え、あわせて被災対応支援のための機能強化を図ります。

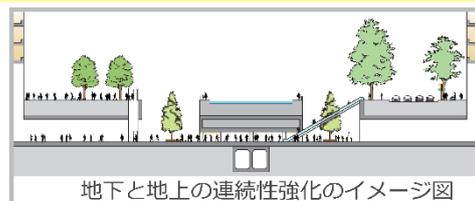
■ 民間の経営感覚を活かして、効率的で質の高い公園整備・管理運営をすすめます

- ・設置管理許可制度や指定管理者制度、PFI制度など、様々な官民連携（PPP）手法を活用することによって、民間事業者の活力やノウハウを導入し、競争原理によってより良いサービスの提供を図ります。

地下空間

■ 地下街や地下鉄駅などと、地上の歩行者空間との連続性を強化します

- ・地下空間と地上との連続性を高めるため、エレベーターやエスカレーターなど昇降機能を集約化した地上と地下をつなぐ拠点をつくるとともに、利用可能時間の延長などにより、地下と地上の移動をしやすくし、新たな人の流れをつくりだします。



エリア別の空間イメージと達成目標



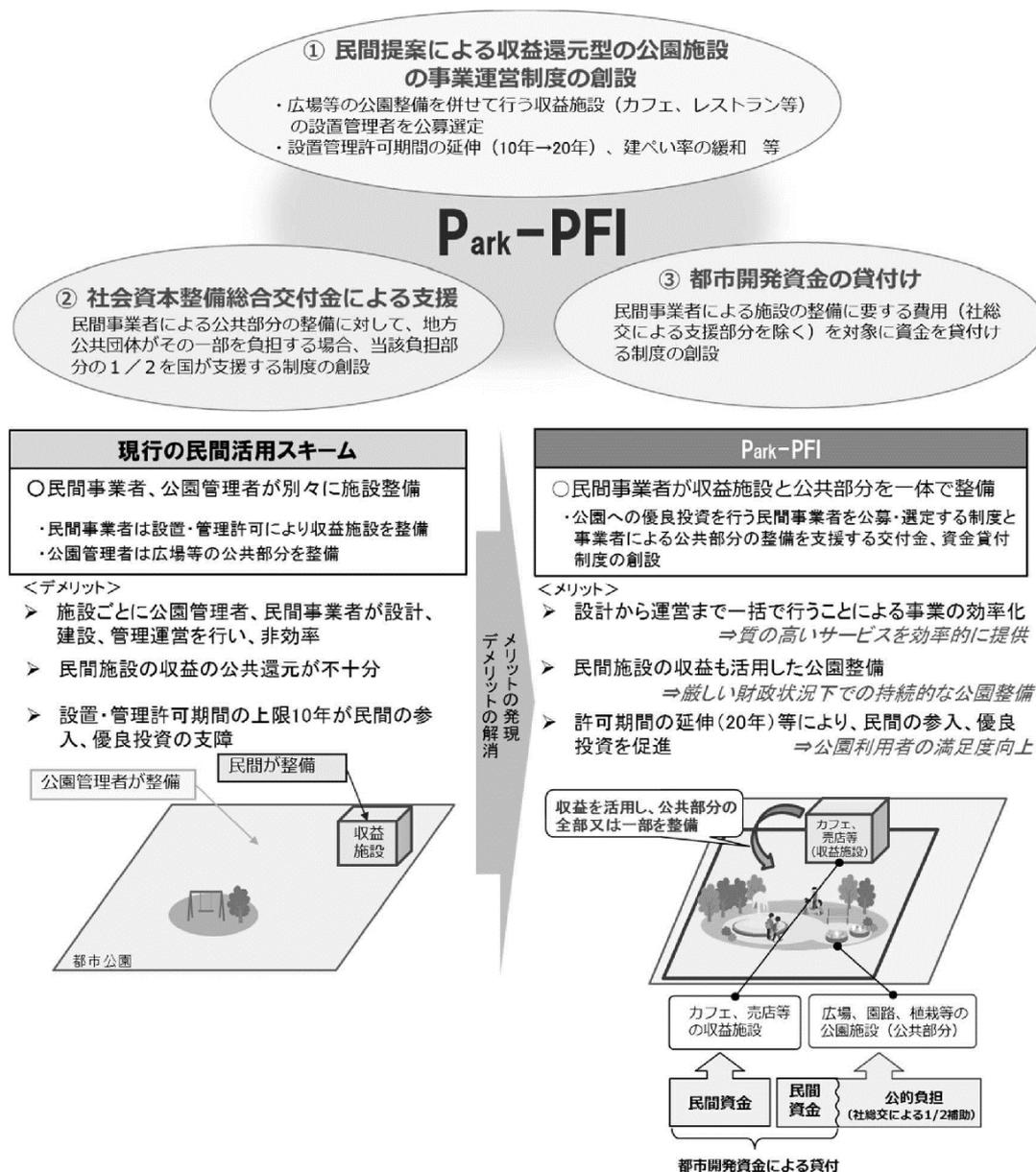
2013年 (平成25年)	前期	中期	後期	2027年 (平成39年)
ビジョン 策定	●公園(久屋大通公園) 〓テレビ塔・北エリア 〓南エリア			

(3) 民間事業者による事業スキーム例

(国土交通省において創設予定の「Park-PFI 制度」)

都市公園の魅力を向上し、そのストック効果を一層高めるためには、民間事業者の資金やノウハウを公園施設の整備、運営に積極的に活用する必要がある。

このため、PPP/PFI による新たな公園の整備手法として、①民間提案による収益還元型の公園施設の事業運営制度の創設、②民間事業者が行う公共部分の整備を社会資本整備総合交付金で支援する制度、③都市開発資金による民間事業者への貸付制度、からなる三つの新たな国の制度 (Park-PFI) が創設される予定である。



(4) 参考事例集

○ 核となる事業例

■ 核となる集客措置



科学博物館

(出典-@2014 三菱みなとみらい技術館)



企業ミュージアム

(出典-@2015 カップヌードルミュージアム)

■ テーマ編集型事業: 宮下公園(ナイキ広場)



スケート場

(出典-@2011 宮下公園)



フットサル場

(出典-@2011 宮下公園)

■ テーマ編集型事業: ゴジラホテル



カフェ

(出典-@2015 ボンジュール)



カフェメニュー

(出典-@2015 ボンジュール)

○ 営業・販売活動使用例、プロモーション・サンプリング例



ヨルバル

(出典-@2015 三宮センター街)



丸の内マルシェ

(出典-@2016 青空市場)



オープンカフェ

(出典-@2012 たかおかストリート)



サテライトスタジオ

(出典-@2013 NHK ラジオ)



携帯キャリアキャンペーン

(出典-@2012 docomo 販売イベント)



メーカーのキャンペーンキッチンカー

(出典-@2006 日清記念イベント)

○ イベント事業使用例



ヨガ

(出典-@2016 東京ミッドタウン)



BMX世界大会

(出典-@2014 FiseWorld)



パブリックビューイング

(出典-@2006 Schlossplatz)



たきぎ能

(出典-@2011 新宿御苑)



アートイベント

(出典-@2013 新宿クリエイターズフェスタ)



大道芸

(出典-@2010 駿府公園)